

富良野看護専門学校 広報誌

看 心 ひ ら の 第 2 (25) 号

発行日 平成 25 年 7 月 3 日

発行者 富良野看護専門学校

「本校学生に期待する」

事務課長 松本 博明

私も本校に来て早 1 年余り経過し、忙しさの中でも、学生の元気な姿と軽やかな口遊びや、休み時間に講堂から聞こえる楽しげな発声が明るく和やかな雰囲気を生み、学生からの声掛けや顔を見ると元気が湧く今日この頃です。学生の皆さんには、第一の目標で看護職になると決意した以上、それぞれ切磋琢磨し、可愛い顔を磨く以上に笑顔に輝き、誰からも信頼される感性豊かな人間性を磨いてほしいと思います。

本校は、看護師国家試験に連続全員合格という輝かしい実績を築いておりますが、各先生方の教えと臨地実習指導者の教育指導は勿論のこと、学生自らの弛まぬ学習努力の大きな成果であります。過密なカリキュラムの中で将来の不安や焦り苛立ちを感じることがあると思いますが、悩んで人は大きくなるものです。ストレスと体重は余りためることなく、時には歌って踊って、カレーを食べ？読書をして解消し、友と共に学生生活を謳歌しながら、粘り強く最後まで諦めず、プレッシャーを跳ね除け、「できるかも！」「できそう！」「絶対看護師になる！」という自己暗示と自己の可能性を信じ全員が国試に合格し卒業できるよう、私なりに支え応援し必勝祈願するところです。

演習では失敗・間違いを恐れず、ミスに気づき課題認識することが重要で、実践に繋がる活きた看護力を確かにし、優しい心で相手に癒しを与えることも必要かと感じます。

看護職には、知的・倫理的側面や、専門職として望まれる高度医療への対応、生活を重視する視点、予防を重視する視点など求められており、社会からの期待と責任の重さは大ですが、何事にも屈せず辛抱強く明るく元気に進んでいきましょう。

市内施設見学

6 / 4 (火) 実施 感想文(要旨抜粋)を連載します。

今回施設見学に行ってみて私の率直な感想は、富良野市には市で設立・経営されている施設が多いということです。市民の皆さんの協力があるから期待に応えたいという気持ちが伝わってきてすごいと思いました。最初に行ったチーズ工房では今では有名な牛乳やチーズなどが作られていますが、昔はポピュラーではなく、牛乳が余って捨てられていたと聞いて驚きました。(略)最近は修学旅行生や海外からの旅行者が増え、チーズやピザ作り体験に重点をおいてとても工夫され私も次回は体験したいと思います。(後略)福原 華泉

6月4日は晴天に恵まれ、まだ着慣れないスーツで登校し、先生方に見送られ出発しました。(略)次に向かったのは演劇工場で、「富良野らしい自然豊かな場所に」という倉本聰さんははじめ富良野塾の方々の熱い活動により2000年に建てられました。劇場内もいろいろな工夫がなされており、私が一番驚いたのは観客メインではなく俳優メインの劇場だというところです、観客席よりステージの方が広く、観客席のすぐ下に樂屋があるなど工夫が施され、もっと詳しく知りたい、見たいと思われる劇場でした。(後略)渡會 真希

・・・ SCHEDULE ・・・ 6 / 28 ~ 8 / 27 の行事・動向（含終了）

6 / 28 (金) 3年実習2クール目、2年老年実習（病院）終了
7 / 1 (月) 3年実習3クール目開始（～7 / 19 金）
7 / 5 (金) 旭川地区看護学校親睦体育大会
7 / 23 (火) 富良野看護専門学校創立20周年記念全学特別講演 川嶋みどり 氏
7 / 24 (水) 夏期休業開始（～8 / 19） 7 / 28 (日) 北海へそ祭り参加
8 / 24 (土) 富良野看護専門学校祭 8 / 26 (月) 学校祭振替休日
8 / 27 (月) 3年実習4クール目開始（～9 / 13 金）

耳よりヘルシー HEALTHY トピックス

「熱中症を予防しよう！」・・・『水分補給』と『暑さを避けること』

熱中症とは「熱に中（あた）る」との意味で、暑熱環境によって生ずる障害の総称。高温や多湿の環境下、体内の水・塩分のバランスが崩れたり、体温調整機能がうまく働かなくなるなどにより体内に熱がたまり、筋肉痛や大量発汗、吐き気・倦怠感等の症状が現れ、重症になると意識障害等が起こる。暑熱の環境と個人の体調の影響が組み合わあって、屋外はもとより室内で就寝中にも発症する場合がある。予防には、急な暑さ・暑い時に無理に活動しない 水分・塩分を細目にとる 避暑スタイルの徹底 体調不良時は特に注意 などが大切である。 <参考：厚生労働省 Web サイト リーフレット>

† † † あ・ん・て・な ANTENNA † † †

富良野看護専門学校は創立20周年を迎えました ・・・ ご紹介とお礼

本校は平成6年4月の開校（創立）以来、本年20周年の節目となります。この間、市民の皆様をはじめ臨地実習病院等関係施設、多くの外部講師など、ご支援・ご協力頂きました関係の皆様に心からお礼を申し上げます。なお記念事業として、7月23日（火）に「全学特別講演」（講師 川嶋みどり氏 日本赤十字大学名誉教授）「20周年記念誌」の発行を行います。今後共、富良野圏域の医療に貢献する人材育成に全教職員が決意を新たにいたします。一層のご指導をお願い申し上げます。（校長）

ささやき S & T ・・・ 学生の、教員の、みんなの声

S：老年看護学実習 を終え、自身の知識や技術の未熟さを実感できました。受け持たせていただいた患者さんのためにも、今回の実習で学んだことや課題を元に成長していきたいです。（2年生 凌大） S：初めての実習が終わって、多くの事を学び、新しい課題も見つかりました。実習で学んだことを生かし、次の11月の実習までに少しでも成長出来るように頑張りたいです。（1年生 山崎 史奈）

T：1年生の初めての実習、2年生の老年実習も終わり、夏休みまであと少し！ スポーツ・学校祭と続き、行事の要となる2年生は忙しいけど、皆で協力して頑張ろう！ 団結！（教員 山崎 麻美）